



雲仙の野鳥

スマホで撮影、雲仙の野鳥データが閲覧できます。画像・解説、鳴声を聴くことができます。(無料)

「雲仙の野鳥 留鳥」:公園内の自然歩道や登山道を散策し、野鳥を脅かさないよう静かに観察しましょう!

1	シジュウカラ	2	ヤマガラ	3	ホオジロ	4	メジロ
							
出現度:A 出現期:留 スズメよりやや小型。雌雄ほぼ同色。特徴は黒い帽子に白い頬、胸にあるネクタイ状の太い黒線。活発に動き回り、ツッピージュクと鳴く。		出現度:A 出現期:留 スズメとほぼ同じ大きさ。雌雄同色。喉と頭部が黒色、腹面の栗色が目立つ。活発に動きまわり、人をあまり恐れず、ツッピー、ツッピーと繰り返して鳴く。		出現度:A 出現期:留 スズメよりやや大きい。雌雄ほぼ同色、雄の頭部は栗茶色、顔には白色と黒い線。春には、「一筆啓上仕り候」と聞こえる美しい声でさえずる。		出現度:A 出現期:留 スズメより小型。目の回りに白い線があり雌雄ほぼ同色。体の上面は全体的に緑黄色。果実や花の蜜などを好み、よく数羽の群落で移動する。	
5	エナガ	6	ウグイス	7	コゲラ	8	キセキレイ
							
出現度:A 出現期:留 スズメよりやや小型。雌雄同色、夏季には森林にいるが、秋から冬には群をなして温泉街付近でも見られる。尾が長いので全長は長くなるが体は小さい。		出現度:A 出現期:留 スズメよりやや小型。雌雄同色、体の上面は全体的に茶褐色、眉斑クリーム白色。胸と腹は灰白色。春先にはさかんに「ホーホケキョ」とさえずる。		出現度:A 出現期:留 スズメとほぼ同じ大きさ。キツツキ類で最も小型。額から頭部灰褐色、背面黒褐色で白色の横じま。「ギーギー」と鳴きながら、樹木をつかみ餌を探す。		出現度:A 出現期:留 スズメ大であるが尾が長い。上面は腰が黄色のほかは全体的に青灰色。胸から腹の下面は黄色。眉斑白色、翼黒色。尾をよく振るので別名「インタタキ」。	
9	コジュケイ	10	ヤマドリ	11	キジ	12	カケス
							
出現度:B 出現期:留 ウズラより一回り大きくハト大。雌雄同色、頭上から後頭褐色、背面は灰褐色に黒褐色の斑。鳴く声は「チョット来い、チョット来い」と聞きなされる。		出現度:A 出現期:留 全長雄約120cm、雌約55cm。雄は特に尾が長い。雌雄異色。雄は頭部から頭、背にかけて金属光沢のある赤銅色。翼をはばたいてドドドという音を出す。		出現度:A 出現期:留 全長雄約80cm、雌約60cm。雌雄異色、雄は額から顔は赤い皮膚が裸出し、頭上から頭は青紫色の光沢のある黒で、ケーンケーンと大きく通る声で鳴く。		出現度:C 出現期:留 全長約37cm、ハトより大型。雌雄同色、頭上は白色地に黒色の軸斑がある。目の周囲黒色、背面はブドウ褐色。しわがれた「ジェーイ」という声を発する。	
13	ミンサザイ	14	キジバト	15	ソウシチョウ	16	フクロウ
							
出現度:A 出現期:留 全長約10cm小型の鳥。上面は全体的に茶色、下面は灰褐色。夏季断崖や洞穴などのある林に住み、岩のすき間や洞穴の入口などにコケ類で営巣し繁殖。		出現度:A 出現期:留 全長約33cm、背は灰褐色の羽緑のある黒褐色。頭、喉、胸、腹はブドウ色をおびた灰褐色。頭に灰青色、白、黒のうろこ状斑があり幼鳥にはない。		出現度:A 出現期:留 スズメよりやや小型。日本にはいなかった鳥で飼育種が逃げ、繁殖。個体数が増えており在来種への影響が危惧されている。(特定外来生物指定)		出現度:A 出現期:留 全長約50cm、カラスより大きめ。背面は全体的に灰褐色で黒色の斑紋。森林内に生息するが、村落付近の社寺林や公園の林に出現することもある。	



「雲仙の野鳥 夏鳥」:雲仙は昭和9年3月に日本最初の国立公園指定され、その豊かな自然や景観が古くから継承、保護されてきました。公園内の自然歩道や登山道を散策し、野鳥を脅かさないよう静かに観察しましょう！（お持ち帰りは思い出と記録だけ、捕獲は禁止！）

17	オオルリ	18	キビタキ	19	カッコウ	20	ツツドリ
							
出現度:A 出現期:夏	出現度:A 出現期:夏	出現度:A 出現期:夏	出現度:A 出現期:夏				
スズメよりやや大きい。雌雄異色で雄は頭部黒色、背面は青紫色。喉、胸は黒色、腹は白色。森林や断崖のある林付近に生息し、高いこずえでさえずる。	スズメより小型。雌雄異色。雄の上面は黒色、翼に白紋がある。下面は喉と胸橙黄色、腹は黄色。中低木付近を行動し、あまり高木の付近には出ない。	ハトとほぼ同大、頭から背にかけて灰青色、腰、灰褐色、尾は灰黒色。腹は白色に黒色横斑が多数ある。夏鳥としておもに草原や明るい林に渡来生息。	ハトとほぼ同大、背面は全体的に暗青灰色、尾は灰黒色。腹は白地に黒色の横斑。4月中旬頃渡来し、ポッポと竹筒をならすような鳴きかたをする。				
21	ホトギス	22	ツバメ	23	センダイムシクイ	24	クロツグミ
							
出現度:A 出現期:夏	出現度:A 出現期:夏	出現度:A 出現期:夏	出現度:A 出現期:夏				
ハトよりやや小型、ホトギス科では小型。背面は全体的に石版灰色、尾は灰黒色。喉から上胸は淡灰色、下胸から腹は白色地に黒色横帯がある。	全長約17cm、雌雄同色。上面は青色光沢の黒色。喉赤褐色。胸腹は白色。建造物に営巣し上空を飛びまわり、飛んでいる昆虫などを捕食する。	スズメより小型。雌雄同色。上面は緑褐色で、眉斑は黄白色。下面は灰白色。一部の高い山地で繁殖する。春秋の渡り時期には各地の低山地にも渡来。	スズメとハトの間同大。雌雄異色、雄の上面は黒色、胸黒色、腹は白色で三角状の白色斑。雌の上面は暗茶褐色、喉は黄白色に黒色縦斑がある。				
25	ヤブサメ	26	セッカ	27	サシバ	28	ヒバリ
							
出現度:B 出現期:夏	出現度:C 出現期:夏	出現度:C 出現期:夏	出現度:A 出現期:夏				
全長約10cm、最も小型級の鳥、雌雄同色、背面は全体的に暗茶褐色、眉斑は淡黄色。下面は全体的に灰白色で、胸は褐色味をおび、脇は茶褐色。	スズメより小型。雌雄同色、体の上面は黄褐色で黒色斑紋。胸、脇は淡赤褐色で腹部は白色である。山地周辺の草生地などに生息し繁殖する。	全長約50cm、雌雄同色、頭上には灰褐色、背面は褐色、尾灰褐色、頬は灰色で白眉斑。胸は褐色、腹は白色に黒褐色の横帯が密にある。	スズメよりやや大型。雌雄同色、上面は全体的に淡黄灰褐色。下面は喉白色、胸から腹部は淡黄褐色。低地や山地の草原などに生息し、繁殖している				
29	トビ	30	ミサゴ	31	アオゲラ	32	カワセミ
							
出現度:A 出現期:留	出現度:C 出現期:留	出現度:C 出現期:留	出現度:B 出現期:留				
全長約64cm、よく見なれた鳥で、上面は全体的に黒褐色、下面もほぼ黒褐色で白色の紋がある。尾の形がしゃみせんどのぼちの形をしているのが特徴。	長雄約54cm、雌約64cm、トビと同じ大きさくらいのタカ。頭部白色、体の上面は褐色、下面は白色で、胸に褐色の斑がある。おもに海岸付近に生息。	全長約29cm、ハトよりやや小型。雌雄ほぼ同色、雄は頭上、後頭赤色、背面は灰緑色と黄緑灰色、尾は緑黒色、翼は黒褐色。雌は後頭だけ赤色。	スズメよりやや大型。額、頭上、後頭は暗緑色地に青白色の斑点がある。後頭から背面は青緑色、尾は青色。色彩が美しい水辺の鳥。				





雲仙の野鳥

スマホで撮影、雲仙の野鳥データが閲覧できます。画像・解説、鳴声を聴くことができます。(無料)

「雲仙の野鳥 冬鳥」:公園内の自然歩道や登山道を散策し、野鳥を脅かさないよう静かに観察しましょう!

33	ジョウビタキ	34	モズ	35	シロハラ	36	ツグミ
出現度:A 出現期:冬 スズメとほぼ同じ大きさ。雌雄異色。雄は額から頭部は銀灰色、背は黒褐色で翼に白色の紋がある。頬と喉は黒色で胸と腹は栗色。	出現度:A 出現期:秋 全長約20cm、雌雄異色、雄は額から黄白色の眉があり、頭部赤褐色、背面青灰褐色、尾は黒褐色、目先から黒色の過眼線がとれている。	出現度:A 出現期:冬 スズメとハトの中間大。雌雄ほぼ同色、背面は全体的にオリーブ褐色、雄の頭部は色彩が濃く、喉、胸はオリーブ色をおびた灰黒色、雌の喉は淡褐色。	出現度:A 出現期:冬 スズメとハトの中間大、雌雄ほぼ同色。頭上から後頭黒褐色、クリム白色の眉斑、黒褐色の過眼線がある。背面は黒褐色で赤褐色の羽縁がある。				
37	ハクセキレイ	38	マヒワ	39	ウソ	40	イカル
出現度:A 出現期:冬 キセキレイとほぼ同大。雄の夏羽では額は白色、上面は黒であるが、冬羽では背面は灰色となる。喉胸は黒色で、腹は白色、冬羽では喉は白くなる。	出現度:B 出現期:冬 メジロとほぼ同じ大きさで、色彩もやや似ている。雄は頭頂は黒色で、背面は黄色に黒色の縦斑がある。喉から上腹部まで黄色、下腹は淡黄白色。	出現度:B 出現期:冬 スズメとほぼ同じ大きさ。雌雄異色、雄の頭部は黒色、頬と喉はバラ色、背面は青灰色、翼と尾は黒色で腰は白色。下面は全体的に灰色。	出現度:B 出現期:冬 スズメとハトの中間大、雌雄異色、雄の頭部は黒色、額は黒色、体は上下面全体的に灰色、翼と尾は黒色、翼に白斑があり飛ぶときに目立つ。				
41	シメ	42	ルリビタキ	43	ヒヨドリ	44	ミヤマホオジロ
出現度:B 出現期:冬 全長約18cm、雌雄ほぼ同色。嘴は太く尾は短い。頭部は黄褐色、後頭灰色、背面は褐色で、翼は青黒色で白斑がある。下面は全体的に淡褐色。	出現度:A 出現期:冬 スズメとほぼ同じ大きさ。雌雄異色。雄の背面は灰青色。下面は灰白色で、脇は橙色。雌の背面は茶褐色で、腰から尾にかけては灰青色。	出現度:A 出現期:冬 全長約27cm、雌雄ほぼ同色、頭部は石版灰色、上面は全体的に暗灰褐色。下面は灰褐色で下腹部は白色。ピーヨ、ピーヨと大声で鳴く。	出現度:A 出現期:冬 スズメよりわずかに大きい。雄の頭頂は黒褐色、目先から頬黒色、眉斑の後半は黄色、冠羽を立てたときは黄色が目立つ。背面は灰褐色で黒い軸斑がある。				
45	アオジ	46	アトリ	47	ハギマシコ	48	キクイタダキ
出現度:B 出現期:冬 スズメよりやや大きい。雄の頭は濃灰緑色、嘴のまわり黒色、背面は褐色で黒色軸斑。下面は全体的に緑黄色で胸と脇に黒色縦斑がある。	出現度:B 出現期:冬 スズメよりやや大型。雄の夏羽は頭部、背面は黒色、喉、胸は橙褐色、腹は白色。冬羽では頭部灰褐色、背は褐色と黒色のまだら状になっている。	出現度:C 出現期:冬 スズメより大型。雌雄同色、雄の頭部は銀灰色、背面は暗褐色、腰は褐色。喉は灰黒色、胸は灰黒色で灰色のまだら。腹は暗紅色と灰黒色のまだらがある。	出現度:C 出現期:冬 全長約10cm、日本産の鳥で最も小型。雌雄同色。頭上は黄色で雄は中央に橙赤色の羽毛がある。背面は全体的に緑褐色で、下面は灰白色。				



「雲仙の野鳥 冬鳥2」:雲仙は昭和9年3月に日本最初の国立公園指定され、その豊かな自然や景観が古くから継承、保護されてきました。公園内の自然歩道や登山道を散策し、野鳥を脅かさないう静かに観察しましょう！（お持ち帰りは思い出と記録だけ、捕獲は禁止！）

49	カシラダカ	50	ピンズイ	51	ヒレンジャク	52	クロジ
				出現度:B 出現期:冬 スズメとほぼ同じ大きさ。雄の夏羽は頭部黒色、白色の眉斑がある。頭頂の冠羽状の羽毛を立てることがある。背面は赤褐色で淡褐色と黒色の縦斑。	出現度:C 出現期:冬 スズメ大。雌雄同色。上面は全体的に緑褐色、灰白色の眉斑がある。下面は白色に黒褐色の縦斑。本州以北で繁殖するが九州では冬鳥。	出現度:C 出現期:冬 全長約17cm、キレンジャクより小型で、色彩もよく似ているが、過眼線は冠羽まで伸び、尾の先端は紅色をしている。習性はキレンジャクとほとんど同じ。	出現度:B 出現期:冬 スズメより大型。雄は全体的に灰黒色で、背には黒色縦斑があり、腹部の中央はやや淡色。雌は淡黄褐色の眉斑があり、背面は茶褐色。
53	カワラヒワ	54	トラツグミ	55	ベニマシコ	56	アカハラ
				出現度:A 出現期:冬 スズメと同じ大きさ。雌雄ほぼ同色、雄の体は全体的に緑褐色で、飛んでいるとき翼の黄色が目立つ。雌は全体的に緑色味がらうすい。	出現度:B 出現期:冬 全長約29cm、ハトより小型。雌雄同色、背面は全体的に黄褐色で、黒色のうろこ状斑があり、下面は全体的に黄白色。夜間「ヒーヒー、ヒーヒー」と鳴く	出現度:C 出現期:冬 スズメとほぼ同じ大きさ。雌雄異色。雄の嘴の基部周辺紅色、頭灰白色、頬と喉銀灰色、背面は紅色で黒色縦斑。翼は黒色で白斑が目立つ。胸と腹は紅色。	出現度:C 出現期:冬 スズメとハトの中間大。雌雄ほぼ同色、背面は全体的にオリーブ褐色、雌の喉は黒味がかかったオリーブ褐色、胸から腹は橙褐色で原の中央は白色。
57	コガモ	58	カルガモ	59	ホシハジロ	60	マガモ
				出現度:A 出現期:冬 全長約37cm、雄は頬に緑色光沢の黒、頭上から後頭、前頭は栗色、背と脇は灰色、胸は淡褐色、腹は白色、腰の両側にクリーム色の三角形斑が目立つ。	出現度:A 出現期:冬 全長約60cm、雌雄同色、頭上から後頭黒褐色、顔、前頭淡褐色。体は全体的に褐色、嘴は黒色で先端部の橙黄色が目立つ。足は橙赤色。	出現度:B 出現期:冬 全長約45cm、雌雄異色、雄の頭部と頸は赤褐色、胸は黒色、体は黒色斑のある白色、尾は灰黒色、雌は頭部と頸は褐色、体も褐色味がかった地味な色彩。	出現度:A 出現期:冬 全長約65cm、雌雄異色、雄は頭部から頭まで黒緑色、白い頸輪がある。背、腰は黒色、胸ブドウ色、腹部は灰白色、嘴は黄緑色、足は橙赤色。
61	オンドリ	62	キンクロハジロ	63	オオバン	64	アオサギ
				出現度:C 出現期:冬 全長約45cm、雌雄異色、雄は額から頭部は暗緑色、後頭は紫赤褐色で長い冠羽。嘴は紅色で先端白色、全体的に多彩な美しい色彩。	出現度:A 出現期:冬 全長約40cm、雌雄異色、雄は腹と脇が白色で、そのほかの部分ほとんど黒色であり、後頭に冠羽がある。目の金色が目立つ。	出現度:A 出現期:冬 全長約39cm、雌雄同色、成鳥は全身が黒く、嘴と額は白いため一目でわかる。上面にはやや青灰色みがあり、頭部とのコントラストがある。	出現度:A 出現期:冬 全長約93cm、日本に生息するサギ類では最も大型。頭から頭は白色、後頭の羽毛が伸び冠羽状になっている。額から目の上を通る黒色の線。